

豊平地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2024年1月

豊平地区では、旭小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年12月15日に第4回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>



※第3回検討委員会の後、計3件のご意見等が寄せられました。第4回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

協議事項1 令和5年10月30日に実施した現地調査の振り返り

※第3回検討委員会で提案があった現地調査を令和5年10月30日に実施し、その振り返りを行いました。

【当日配布資料3抜粋】※ニュース用に編集しています。配布した資料は公式HPに掲載しています。

①豊陵公園南側交差点（航空写真）変則的な横断歩道で、豊陵公園と豊平6条5丁目の街区を直接つなぐ横断歩道がない。

②北海学園北側道路（緑矢印方向に向かって撮影）道幅が狭い。歩道がない。

③北海学園南側道路（緑矢印に向かって撮影）道幅が狭い。

④北海学園西側道路（緑矢印に向かって撮影）歩道部分に電柱が設置されており、北海学園敷地の西側の歩道が特に狭く、車道を歩くことが多い。積雪時には両側の歩道がなくなることが予想される。北海学園敷地との出入口付近に横断歩道などはない。

⑤豊平7条7丁目1号線（緑矢印に向かって撮影）北側歩道部分に電柱が設置されており、車道を歩くことが想定される個所がある。積雪時には両側の歩道がなくなることが予想される。

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

現地調査を踏まえた通学区域の危険個所と今後の課題について

- もし歩道が狭い道が通学路になった場合は、スクールガードなどを配置して見守りするなどの配慮が必要。
- 北海学園敷地を通過して通学する場合、大学の図書館を通ることになると思うが、図書館から食堂や売店に行くことができるため、児童が大学の建物内で飲食するなどの問題が発生する可能性がある。実際に歩いて皆さんで課題を確認できたのは良いことだと思った。
- 北海学園敷地内でも自転車や車の往来があり、事故があった時の対応をどうするのかなどは、教育委員会・保護者・小学校・北海学園とで事前に検討しておく必要がある。
- 横断歩道の設置や歩道の拡幅については、関係する機関において、検討するのに時間がかかる話なので早いうちに区の土木や道警に話をしておくべきである。
- 冬にも同じように現地調査して確認したい。

⇒【教育委員会】

- ・地域の方が北海学園敷地を通ること自体は問題ありませんが、多くの児童が北海学園の敷地内を通行することになる場合は、事故などが起きた時の対応について教育委員会を含めた関係者間で、事前に検討する必要があると考えています。
- ・委員からのご提案もあり、教育委員会といたしましても、冬の通学の安全を検討する上で、現地調査を実施したいと思います。

協議事項2 これまでの議論と今後の進め方について

※今後の進め方についての方向性を決めるため、これまで実施した委員会内で出た意見を整理して委員の皆様と共有しました。

【配布資料4】※ニュース用にレイアウト変更をしています。配布した資料は公式HPに掲載しています。

1 これまでの議論について

項目	委員からの主なご意見	事務局からの説明等
規模適正化を図るための取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・統合して学校の子どもの多くなるのは良いこと。 ・小規模校であっても不自由していない。 ・統合ではなく、対象の小学校を多くして通学区域を見直し、児童数の平準化を図るのはどうか。 ・いずれは統合しなければならないことは理解している。 ・統合するならば、校名・校歌・校章等も新しくした学校を一緒に作っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い教育環境の維持のため、少なくとも1学年2クラス以上が望ましい。 ・通学区域を見直して一時的に小規模校の児童数が増えたとしても、将来的には再び同じ検討が必要となる。 ・これまでの統合でも校名・校歌・校章等を新しくする事例はある。
事務局が提示した取組案について	<ul style="list-style-type: none"> ・取組案の矢印が旭小から豊平小となっていたので、決定事項と捉える人が多かったと思う。情報発信の方法についてもっと配慮して欲しかった。 ・統合先について、旭小なのか豊平小なのか、条件整理して検討するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・矢印の向きなど情報発信の方法については、決定事項であるかのような誤解を与えないよう心掛ける。 ・検討委員会で統合先についての条件を分かりやすく整理した上で、比較検討いただきたい。
統合先について	<ul style="list-style-type: none"> ・旭小の場所は、洪水浸水区域なので、防災の観点から見ると、統合先は豊平小でやむなしかと思う。 ・跡地利用の観点からは、豊平小敷地の方が利用価値が高いと考えられるので、統合先は旭小の方が良いという考え方もあるのではないか。 ・校舎や地区会館の建て直しとは関係なく統合先を決めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離が増える児童をなるべく少なくすることや避難所のことなどを考慮すると、統合先は豊平小が妥当ではないか。 ・跡地としてどちらが良いかではなく、学校の教育環境としてどちらが良いかを考えるべき。

<これまでの議論のまとめ(案)>

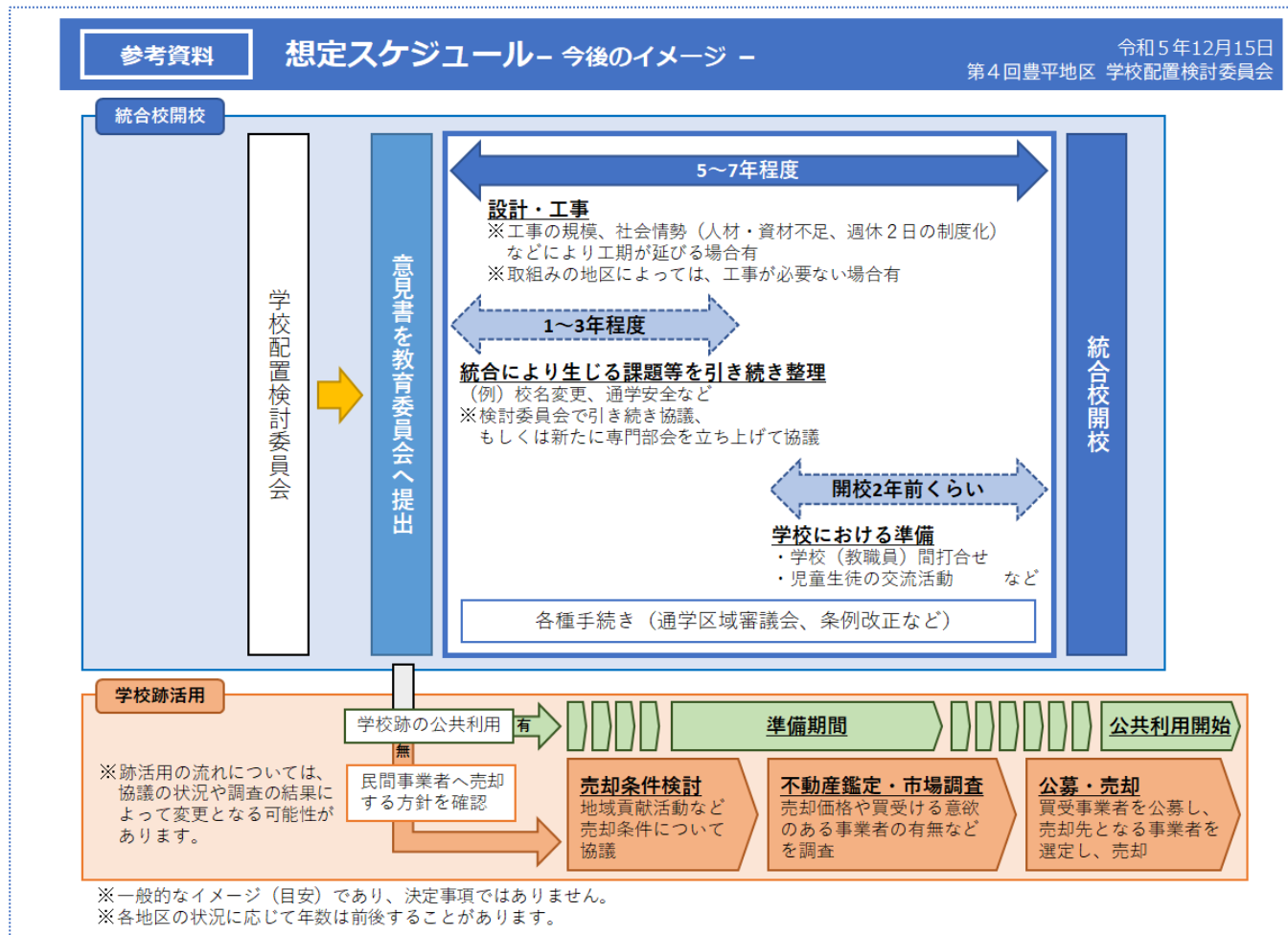
- ・豊平地区の学校規模適正化のため、旭小と豊平小との統合を進める。
- ・統合校は豊平小敷地を活用して新校舎を建設(まちづくりセンター、地区会館、児童会館を複合化)。

2 今後の検討委員会の進め方について

- 統合校開校までのスケジュールについて確認、協議する(参考資料)
- 検討委員会としての意見書作成に向けて、具体的な課題、検討事項をさらに整理し、対応方法について協議する。

統合と今後の検討委員会について

【資料4の参考資料】※現在の検討委員会での協議は下図の黄色矢印部分の段階です。



- 最終的に統合するのは仕方ないと思っているが、統合にあたっての懸念事項を解消していくことが大事。
- 豊平小敷地を活用した統合校とするならば、主に、現在の旭小校区に住んでいる児童に通学の通学の負担が生じる。通学の安全の確保については、札幌市、教育委員会が関係部署と調整をして具体的にどう対策するのが分からないと保護者は納得出来ないし、安心して学校に通わせることが出来ない。
- 統合前の子どもたち同士の交流も大切。統合決定を契機にしてではなく、決定前の今から交流を始めた方が良くはないか。
- 横断歩道の設置や道路の拡幅について、予算の関係もあるので一朝一夕にはいかない。統合決定後、通学路がどうなるか決まった後に具体的な要望として始められたらいい。
- 資料4の「これまでの議論まとめ」に（案）とあるが、皆さんも統合について大筋では同意していると思っていると思うので、（案）を取ってもいいと思う。
- 統合するなら統合する、ともう決めてしまわないと、教育委員会も動けない。資料4の「この議論のまとめ」、というのは検討委員会内の議論のまとめであって、統合の最終的な決定は議会の場で決まるのだと思う。
- 検討委員会は意見書の提出をしたら役割を終えるのか。
- よりよい学校になればと思うので、このまま進めてもらいたい。

⇒【教育委員会】

- ・学校の統合の正式な決定ということでは、条例案として市議会での議決を経て決まることとなります。
- ・ホームページ公開時に、資料4の「これまでのまとめ（案）」の「(案)」を取らせて頂いた上で、「統合校は豊平小敷地を活用して新校舎を建設する方向で課題を整理する」としてはどうでしょうか。
⇒本提案について委員の方からご了承をいただきました。
- ・この学校配置検討委員会の委員の任期は、意見書提出までとなります。

【協議結果】

- ◆旭小学校と豊平小学校との統合を行うこととし、統合校は豊平小敷地を活用する方向で、今後も課題を整理していく。

その他 メールや電話で寄せられたご意見について

- 今回の資料2にあった、「未就学児の親の意見も聞くべき」について、小学校PTAという立場ではあるが、同時に未就学児の親や中学生の親という委員もいるという事をお伝えしたい。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第5回 豊平地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2024年(令和6年)3月12日火曜日 16時00分～17時30分
- ▶開催場所 豊平会館(豊平区豊平6条7丁目1-12)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第5回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第4回検討委員会の振り返り ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶実地調査の報告及び通学安全の課題整理と解決の方法の検討
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

豊平地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話:011-211-3836 FAX:011-211-3837
- ▶e-mail:gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

学校規模適正化 豊平

検索



さっぽろ市
02-S01-23-2557
R5-2-1557

SAPPORO